

北丹沢方面の自然公園情報

日付：令和元年8月20日（火）

コース：平丸—平丸分岐（主脈稜線）

天気：曇り

温度：23℃（12時頃、平丸分岐にて）

<自然情報>

●登りはじめてからしばらくの間、ヤマビルに悩まされました。昨夜に雨が降ったので、ヤマビルが活動するのに適した条件になったようです。

ヤマビルは、気温25度前後で湿度70パーセント程度になると活発に活動します。出現数が増えるだけでなく、動きも早くなります。

下記URLからヤマビルについて詳しく解説した「ヤマビル対策マニュアル」や、マニュアルを見やすくまとめた「ヤマビル対策リーフレット」を見ることができるので興味がある方はご覧ください。

→<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/u5r/cnt/f550/p6670.html>

●主脈稜線付近では、まとわりつくコバエのような虫に苦労しました。中には刺す虫もいたので、虫よけスプレーなどを携帯し、暑くても長袖のシャツを着るのなどの対策をとると良いでしょう。

●蒸し暑い日でしたが、秋の花が咲き始めていました。



マツカゼソウ



ナガバノコウヤボウキ

●朽ち木やキノコを食べるキマワリは、老朽化した指導標の柱についていました。
糞虫のオオセンチコガネは、ためフン場のそばで見かけました。
(ためフン場とは、タヌキは同じ場所でフンをする習性があり、その場所のことをいいます)



キマワリ



オオセンチコガネ

<見どころなど>

●登山口付近のスギ林では、最近間伐がおこなわれたようです。切り口の新しい丸太が並んでいました。日が射し込むようになりましたが、まだ下草は見られません。
中腹のヒノキ林は間伐から年数が経過して下草が回復してきました。



登山口付近のスギ林



中腹のヒノキ林

●登り始めの登山道では、土柱（どちゅう）がたくさん出来ていました。
雨水に浸食された土壌で、小石に保護されたその下の土だけが残って、柱のようになったものです。雨水が直接地表に降る時の浸食の強さを見ることができます。
中腹のヒノキ林のように下草が回復すれば、それがクッションのような働きして、浸食を和らげることが出来ます。

